

【神奈川連合組子ども会 夏のつどい】



本
願
力

『本願力』第九十二号をお届けします。皆さまが本号に目を通されるのは九月になりますからだと思いますが、この原稿を執筆しているのは八月の酷暑の中であります。ここ数年続く酷暑と記録的な豪雨、また一向に収束の見えない新型コロナウイルス感染により、生命を奪われた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、私たちは日々新聞やテレビ報道やSNS等様々なソーシャルメディアを通じて溢れる情報の中にあって何か大切な「問」を見逃して過ごしてしまっているのではないかでしょうか。尾畠文正氏の言葉に「南無阿弥陀仏と念佛もうすることは仏さまの『これでいいのですか』と私を問う呼び声に、一人ひとりが向き合っていくことです」とあります。酷暑、豪雨をもたらす環境破壊の問題、人知を試すがごときコロナウイルスの蔓延、問うべき課題が溢れています。そして、ロシアによるウクライナ侵攻の問題。夥しい無辜の民の生命が奪われている現実。そして今一番懸念されるのがロシアによる核爆弾の投下です。現にプーチン大

〒234-0051
横浜市港南区日野一一一一八
【発行】真宗大谷派 本願寺横浜別院
(○四五)八四一一三四二八
FAXTEL
(http://www.yokohama-ootani.com)

統領は圧倒的軍事力の優勢を示すのに、その保有力の多さを誇り、いつでも使用出来る事を内外に示しています。

八月には忘れてはならない「刻」があります。八月六日午前八時十五分と八月九日十一時二分です。広島と長崎に原子爆弾が投下されたその「刻」です。私は長崎で生まれ育ちました。母は被爆者でした。今思えばよく話を聞いておけばよかつたと思うのですが、原子爆弾投下後、何日たつていたのか、爆心地を歩いた事により、所謂残留放射能に汚染されたことによる被曝だったのだろうと思います。

広島は人類史上初めて原子爆弾が投下された都市である事は確定した事実ですが、長崎が人類史上最後の被爆地であることは確定したことではありません。今年の長崎市長の平和宣言の冒頭に被爆者の渡辺千恵子さんが原水爆禁止世界大会が始めて長崎で開かれ参加した時の事が紹介されています。下半身不随の渡辺さんがお母さんに抱きかかえられて入つてくるとカメラマンたちが一齊にフラッシュを焚きました。すると、「写真を撮るのはやめろ!」「見世物じやないぞ」という声が発せられ、会場が騒然となつたそうです。その後、演壇に上がった渡辺さんは澄んだ声でこう言われたそうです。「世界の皆さん、どうぞ私を写してください。そして二度と私をつくらないでください」と。

渡辺さんの声は長崎を最期の被爆地にと
いう後に生まれん者への呼びかけであります。

— 各法要 (おつとめ・ご法話) のご案内 — 2022年9月～11月

～どなたもご自由にお参りください～

秋季彼岸会法要 午後1時30分より
9月25日(日)・26日(月)

【法話】高濱 浩暢 師

(首都圏開教者会 正勸寺)

お彼岸は、浄土に還っていかれた亡き人を偲ぶと共に、自分の生活を振り返る大切な時です。有縁の皆様におかれましては、ぜひご参詣ください。

定例法話 午後1時30分より

9月9日(金)湘南組 明窓寺 藤石 寛師

9月28日(水)別院 列座 家本久和

10月9日(日)首都圏開教者会 往還寺
松下照見師

10月28日(金)別院 列座 佐竹大樹

11月9日(水)横浜組 遊林寺 三島法遵師

11月28日(月)別院 輪番 森田成美

※法話終了後の「座談会」は休止中です。

※「正信偈の会」は休止中です。

横浜別院同朋の会・おみがき会

10月1日(土) 10時30分～12時

本堂の仏具を磨きます。軽食あり。

【参詣者の皆様へ】

新型コロナウイルス対策として、参詣者の皆様にはマスク着用、咳エチケットや手洗い・うがいの励行など、十分な予防対策をお願いしております。

また、新型コロナウイルスの感染拡大により、急遽、行事を中止する場合がありますので、最新情報を別院ホームページや電話等で確認いただきますようお願い致します。

書籍紹介でした。

(家本)

今年の夏も天候不順な日が多かったように思ひます。相変わらずのコロナ下であります。秋の彼岸、報恩講と行事が続きますので、どうぞご参詣下さい。さて、横浜別院には、全国の別院より、別院寺報や教化冊子など様々な出版物が届けられており、頂戴しております。その中で、先日『名古屋教区教化セントラル研究報告第十三集』が発行されました。その研究報告の中に、「寺院の未来についての一考察・仏事の変化と寺離れの背景について、大河内真慈』がありました。内容は、実際の様々なデータから、それらを検証した上で、データに基づく現在の寺院がおかれている状況を指摘されました。内容は、寺院とはその性質上、データで測れない部分があるかと思いますが、逆にデータが物語っている部分があることも語りました。

《別院声明儀式研修会のご案内》

【日時】 10月6日(木) 14時～16時

【内容】 「横浜別院報恩講・習礼」

【参加費】 無料 **※寺院対象の研修会**

【持ち物】 間衣・輪袈裟『大谷声明集』等
報恩講に出仕を予定されている方は積極的にご参加ください。ご参加の方は、お手数ですが、別院まで電話、FAX、メール等で事前に申し込みください。

報恩講 **※詳細は別紙の報恩講案内**

10月18日(火) チラシをご覧下さい

午後1時 初逮夜・法話・御伝鈔拝読

午後4時 報恩講夕べのつどい

「坊さん漫才えしんりょう」

10月19日(水)

午前10時 初日中・法話

午後1時 結願逮夜・御俗姓拝読・法話

10月20日(木)

午前10時 結願日中・法話

【法話】竹部 俊恵 師

(高岡教区妙蓮寺住職・元横浜別院輪番)

※19日、20日の日中法要の法話の後に
お齋(昼食)を準備しております。

急遽、日程変更の場合があります。最新情報
をHPや電話等でご確認ください。

グリーフケアのつどいのご案内

【日時】 10月1日(土) 午後2時～
12月3日(土) 午後2時～

2023年2月11日(土) 午後2時～

突然起きてくる人間の悲しみに共感を求めて
グリーフケアを行なっています。

※参加費・申し込みは不要です。

詳細はチラシをご覧ください。